

「くじ」の方法について

福岡県学生会館照明設備 LED 化改修工事において、最低の価格を提示した者が 2 者以上の場合における「くじ」の方法については、以下のとおりとする。

- 1 入札担当者は開札の結果、落札者となるべき同価の入札をした者（以下「くじ参加者」という。）が 2 者以上あるときは、くじにより落札者を決定する。
- 2 くじ参加者が開札に立会いができなかった場合においても「くじ」を行うこととし、くじ参加者はくじの結果に異議を唱えることはできない。
- 3 「くじ」の方法
 - (1) 入札書の「くじ用の数字」欄（3 桁）に任意の値の記入
くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ用の数字」欄にあらかじめ任意の値（0 0 0 ～ 9 9 9）を記入させる。
なお、記入がない場合の「くじ用の数字」欄は「9 9 9」とする。
 - (2) くじの手順
 - ① 書留番号（1 1 桁）の下 4 桁の小さいものから順に、参加者にくじ番号（0， 1， 2・・・）を付与する。
 - ② くじ参加者の入札書に記載された「くじ用の数字」を合計し、その合計値をくじ参加者数で除算して余りを算出する。
 - ③ 上記②で算出した余りの数字と、上記①のくじ番号（付与数字）が同じ者を落札者とする。
※書留番号は一般書留、簡易書留郵便において、日本郵便が配達記録管理に使用している番号とする。

【例】

- ① 書留番号（11桁）の下4桁の小さいものから順にくじ番号（0、1、2・・・）を付与する。（※ 下4桁が同一の数字になった場合は、下5桁の数字が小さい順とする。）

業者名	入札書記載のくじ用の数字	書 留 番 号	書留番号 (下4桁)	くじ番号
A社	1 2 3	2**-**-04632-5	6325	1
B社	5 0 4	7**-**-01457-2	4572	0
C社	9 6 8	1**-**-03891-1	8911	2

- ② くじ用の数字の和を求め、くじ参加者数で除算し、余りの数字と同じ数字のくじ番号の者を落札者とする。

$$\begin{array}{l}
 \text{A社 (くじ用の数字 1 2 3)} \\
 \text{B社 (くじ用の数字 5 0 4)} \\
 \text{C社 (くじ用の数字 9 6 8)}
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{A社} \\ \text{B社} \\ \text{C社} \end{array}} \right\}
 \begin{array}{l}
 \text{合計 } 123 + 504 + 968 = 1595 \\
 \text{当選番号 } 1595 \div 3 \text{ 者} = 531 \cdots \cdots \text{余り } 2
 \end{array}$$

- ③ 落札者の決定

業者名	くじ番号	備 考
A社	1	
B社	0	
C社	2	当選番号の「2」と一致するくじ番号のC社が落札者

- ④ C社が入札を辞退した場合や入札参加資格・条件を満たしていなかった場合
他の2者でくじを行う

業者名	入札書記載のくじ用の数字	書 留 番 号	書留番号 (下4桁)	くじ番号
A社	1 2 3	2**-**-04632-5	6325	1
B社	5 0 4	7**-**-01457-2	4572	0

$$\text{合 計 } 123 + 504 = 627$$

$$\text{当選番号 } 627 \div 2 = 313 \cdots \cdots \text{余り } 1 \quad \text{※A社が次点の落札者となる。}$$